茅ケ崎駅を探検したよ！

電車で出掛けるときに、必ず利用する駅。
わたしたちマリンジュニア編集委員９人は、
６月23日に、ＪＲ茅ケ崎駅を取材しました。
たくさんの人や電車が通る駅って、
どうなっているんだろう？
説明してくれたのは、茅ケ崎駅助役の秋沢さん。
いつもとは少しちがう茅ケ崎駅をのぞいてみました。

茅ケ崎駅の豆知識

茅ケ崎駅ができたのは、明治31年6月15日。今年で106年にもなるんです！　今の駅長さんで46代目。こんなに長い歴史があるなんて、びっくりです。

現在、茅ケ崎駅を利用する人は、1日に約15万人。電車は、貨物列車や特急を含めて600本くらい通ります。

みなさんは、駅のホームの長さはどのくらいだと思いますか？なんと……305㍍もあるんです。びっくりです！

電車の1日・駅員さんの1日

みなさんがまだ寝ているころ、電車は走り始めます。みなさんがもうぐっすりと眠っているころ、電車はくたくたになって車庫に入ります。茅ケ崎駅を発車する最初の電車は、相模線の午前4時42分。最後に発車するのは東海道線下り、深夜0時54分。

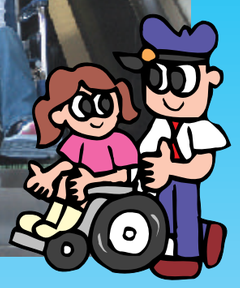
1日で平均800万円分の切符が発行されるそうです。

券売機の裏側を見せてもらいました。券売機は、何時にどんな切符を買って、何円入ったかなどをすべて記録しています。

券売機の仕組み

券売機は、切符などの自動販売機です。全部で14台あって、休む時間あるのかな？

38人いる駅員さんは、交代で仕事をして、仕事の時には家にも帰らず休養室で寝ます。休養室にはベッドが2つあって、4時間ずつ交代で眠ります。朝9時に出勤すると次の朝の9時まで仕事です。大変な仕事だなぁと思いました。



切符を作る所には、テープのようになった切符のもとがあります。切符を買おうとしてボタンを押すと、切符の大きさに切られ、表は印刷し、裏には自動改札機で読み取るためのデータが記録されて券売機から出てきます。

そして、使い終わった切符は、東京の乗車券センターで、トイレットペーパーやコピー用紙などに再利用されるんですって。なんでもリサイクルできるんだなぁ。

みんなの安全のために

駅のエスカレーターには、車いすの人が上り下りできるように、仕掛けがしてあるのです。エスカレーターを止めて操作すると、3段分が同じ高さで平らになり、タイヤを止めるストッパーが出て落ちないようになります。駅員さんが付き添って、エスカレーターはゆっくり動きます。車いすでも、安全に上り下りができるのです。

ホームには、運転事務室があります。ここでは、電車の出発時刻、現在の電車の位置などが分かります。また、人や物が線路に落ちると、ブザーが鳴ります。そのときには、駅員さんはすぐに駆けつけます。

ここは夜中でも必ず1人は起きていて、24時間フル活動です。

発車ベル

電車の一番うしろから、車掌さんが降りてきました。車掌さんは、ITVというテレビのような機械で、乗り降りなどの安全を確認します。そして、発車ベルのボタンを押し、音楽を流して発車を伝えます。

忘れ物があるぞ！

必ずといっていいほど忘れ物があります。かばん、携帯電話、財布など。変わったものでは、なんとお骨まであったそうです。一番多いのは、かさ。雨がやんだあとは特に多いそうです。

忘れ物は、駅で3日間あずかった後、平塚警察署に送られます。みなさんも忘れ物には注意しましょうね。

駅でのマナー

助役さんからのお願いです。

「駅には人がたくさんいます。ふざけたり走り回ったりしないでね。もう一つ、改札口や券売機の前で待ち合わせしてしまうと、他の人の迷惑になってしまいますのでやめましょう。それと、駅にある機械は絶対にさわらないでね」。

みんなが気持ちよく駅を利用できるようにしましょうね。

いろいろな仕組みや駅員さんのおかげで、みんなにやさしい茅ケ崎駅があるんですね。

助役さんは、最後に「ぜひ電車を好きになってくださいね」と言っていました。

CHIGASAKI